

●名寄地域物流研究の取り組み●

資料 4

START 平成29年11月22日

声かけ 名寄市総務部企画課

経済団体 名寄商工会議所

事業者 JR北海道、ヤマト運輸、佐川急便、日本郵便

目的 多様な物流で地域生活が維持される中、まずは宅配事業に的を絞り、事業者の課題の洗い出し、課題の共有、名寄市の物流維持に対する役割を明確化する

課題 道北圏域における不採算の細い物流網の効率化が共通の課題

方向性 貨客混載など、定時制に優れたJR路線の活用も視野に、取り組みを進める

※ この間の各種取り組み

名寄商工会議所青年部主催 H29.10.20

道北経済人フォーラム「地域経済発展のため物流の可能性を考える」

名寄商工会議所

名寄地域連携物流システム検討協議会 発足 H29.12.13

名寄商工会議所

物流拠点としての名寄の意義と役割 講師 川合紀章氏 H30.5.18

名寄市 H30.4.27

圏域行政担当者を集めて物流勉強会を開催 講師 ヤマト運輸 茂泉氏

今後の展開について

入ってくる荷物・・・

▼貨客混載の取り組みの実現に向けて、宗谷本線を活用した実証試験の実施

▼名寄市の立地的優位性を活かし、物流のベース化の可能性について研究を進める

圏域の人口減少 → 届く荷量の減少 → 物流網の維持困難 → 特効薬は無い
→ 高規格幹線道路を活用した無人輸送技術の構築（冬期間運転技術の開発拠点）

出ていく荷物・・・

圏域は優良な生産空間 → 生産物の大きな変動はない → 荷量の維持
→ 出荷の課題（道外向け出荷の主流は苫小牧中継） → 労基法の改正
→ ドライバー労働時間の厳格化 → 名寄市が北限 → 圏域集荷地点の優位性
→ 名寄市をベースとして幹線輸送の構築 → 平準化による帰り荷の確保



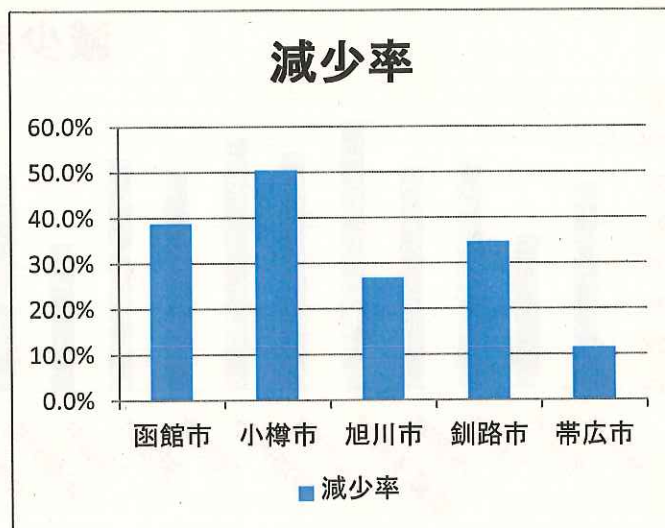
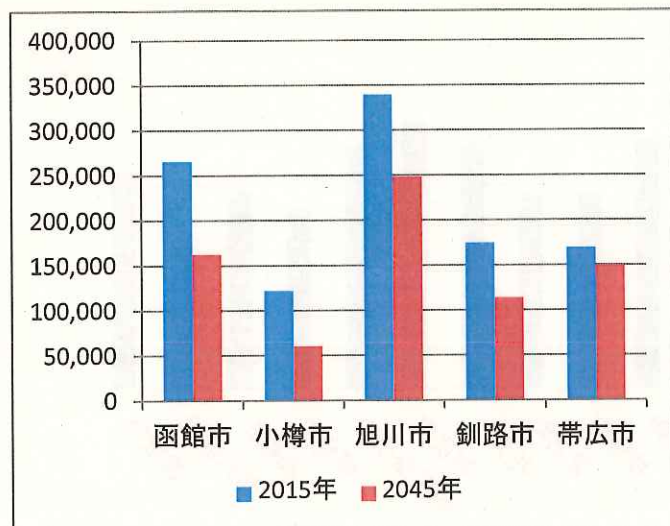
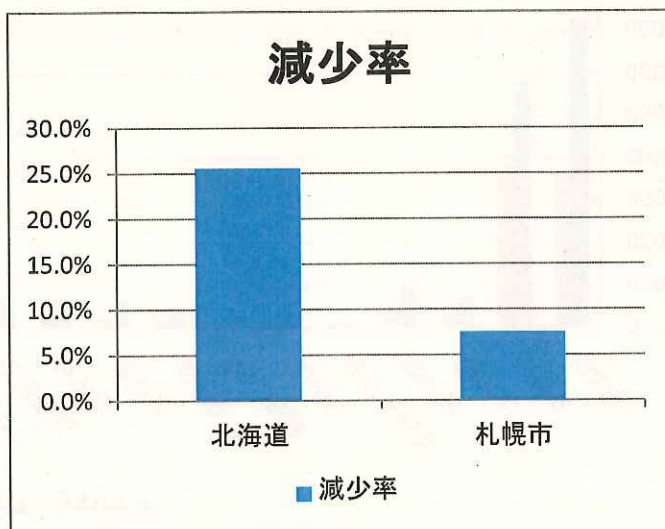
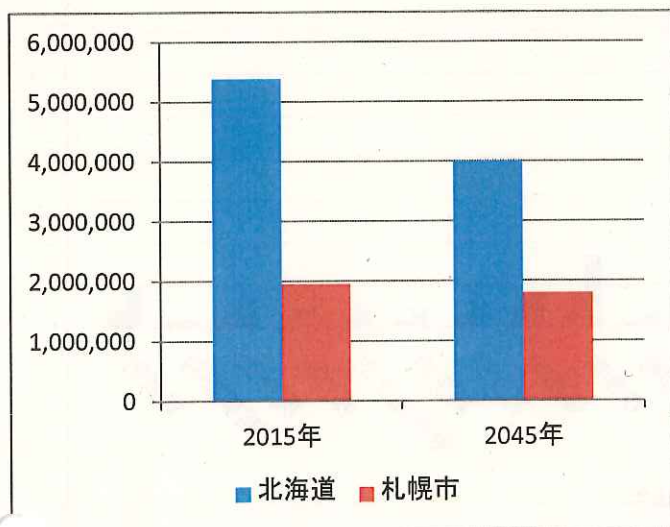
▼どのようにして物流網の「うねり」を作っていくのか・・・

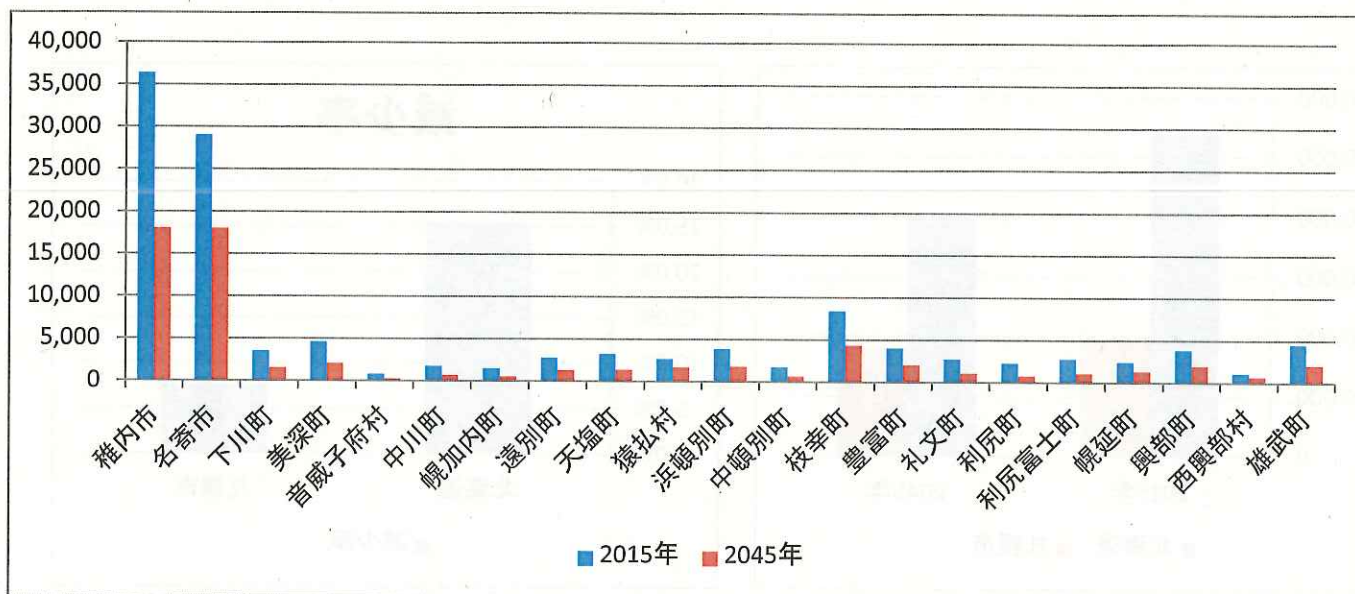
▼民間事業者と継続して情報共有を図り、物流設計のお手伝いを続ける

生産者に物流コストの削減分をリターンする仕組みと、消費者に還元できる仕組みとして取り組みを進めるため、関係機関の助言、アドバイスをお願いします。

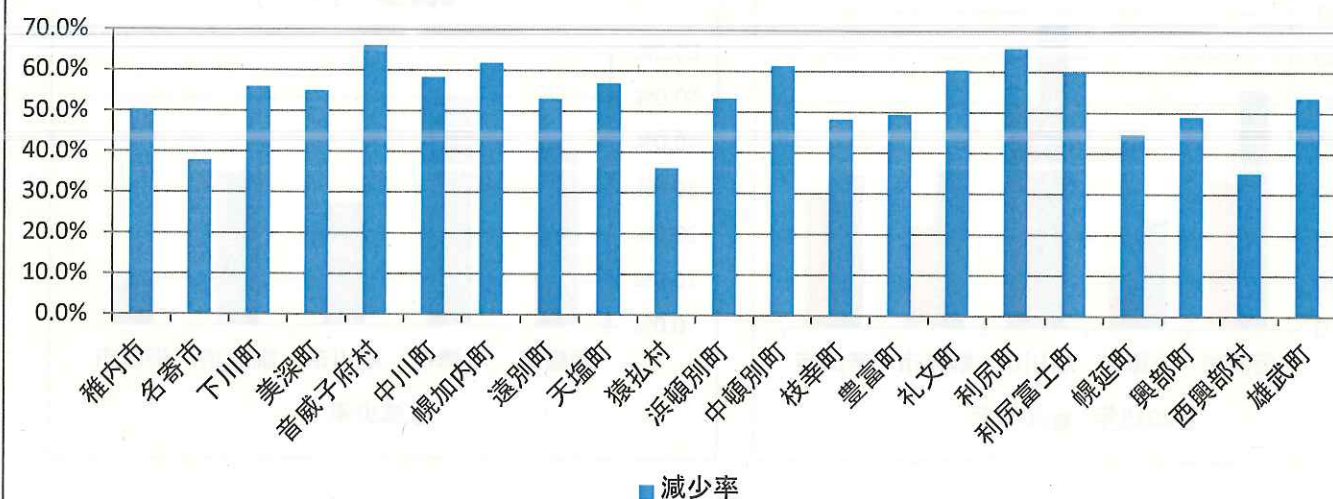


国立社会保障・人口問題研究所 地域別将来推計人口より





減少率



圏域合計

